

# 平成27年9月の鉱工業活動 図表集

平成27年11月13日  
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成27年9月 鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.4	96.8	113.6	115.5
前月比	1.1%	1.4%	▲ 0.4%	▲ 3.1%
指数水準	H27.7 97.5以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.4 97.9以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H27.5 112.9以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12,H22.9 99.1	H27.7 112.2以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	3か月ぶり+ (H27.6以来)	3か月ぶり+ (H27.6以来)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)
前月比幅	H27.6 1.1%以来 (超) H27.4 1.2%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H27.1 5.5%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H27.1 5.5%	H27.7 ▲0.8%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H27.1 ▲3.3%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲ 0.8%	▲ 1.5%	2.1%	3.6%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H27.8～当月) ・直近で2か月以上連続▲ 6か月連続▲ (H26.10～H27.3)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)	17か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で17か月以上連続+ 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	17か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で17か月以上連続+ 20か月連続+ (H20.3～H21.10)
前年同月比幅	H27.5 ▲ 3.9%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H27.5 ▲ 3.2%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H27.8 2.1%以来 (超) H27.7 2.7%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.5 6.4%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 平成27年7～9月期 鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫(期末)	在庫率
季調済指数	97.1	96.2	113.6	115.6
前期比	▲ 1.2%	▲ 0.6%	▲ 0.9%	1.4%
指数水準	H25. II 96.1%以来  ①H21. I 79.3 ②H21. II 83.5 ③H21. III 88.6	H25. II 95.5以来  ①H21. I 80.7 ②H21. II 83.0 ③H21. III 88.2	H27. I 113.4以来  ①H23. I 97.7 ②H21. IV、H22. III 99.1 ③H22. I 99.6	H24. IV 117.7以来  I H21. I 150.7 II H21. II 132.4 III H20. IV 123.8
前期比の動き	2期連続▲ (H27. II～当期)  ・直近で2期以上連続▲ 2期連続▲ (H26. II～26. III)  (超)3期連続▲ (H24. II～24. IV)	2期連続▲ (H27. II～当期)  ・直近で2期以上連続▲ 2期連続▲ (H26. II～26. III)  (超)3期連続▲ (H24. II～24. IV)	7期ぶり▲ (H25. IV以来)	2期連続+ (H27. II～当期)  ・直近で2期以上連続+ 3期連続+ (H26. II～26. IV)
前期比幅	H27. II ▲1.4%以来  ①H21. I ▲20.5% ②H20. IV ▲9.7% ③H23. II ▲4.1%	H27. II ▲2.4%以来  ①H21. I ▲18.5% ②H20. IV ▲9.5% ③H23. II ▲8.6%	H25. IV ▲1.9%以来  ①H21. I ▲7.2% ②H21. II ▲5.9% ③H23. I ▲4.2%	H27. II 1.5%以来  I H21. I 21.7% II H20. IV 18.1% III H23. II 10.5%
前年同期比(原指数)	▲ 0.4%	▲ 0.6%	2.1%	2.1%
前年同期比の動き	5期連続▲ (H26. III～当期)  ・直近で5期以上連続▲ 6期連続▲ (H20. III～21. IV)	5期連続▲ (H26. III～当期)  ・直近で5期以上連続▲ 6期連続▲ (H20. III～21. IV)	6期連続+ (H26. II～当期)  ・直近で6期以上連続+ 7期連続+ (H23. II～24. IV)	6期連続+ (H26. II～当期)  ・直近で6期以上連続+ 10期連続+ (H19. II～21. III)
前年同期比幅	H27. II ▲0.5%以来  ①H21. I ▲33.2% ②H21. II ▲27.3% ③H21. III ▲19.7%	H27. I ▲2.4%以来  ①H21. I ▲33.1% ②H21. II ▲27.7% ③H21. III ▲19.2%	H27. II 4.0%以来  ①H24. I 12.1% ②H23. III 8.1% ③H26. IV、H27. I 6.2%	H27. II 4.8%以来  I H21. I 56.2% II H21. II 35.6% III H23. II 16.5%

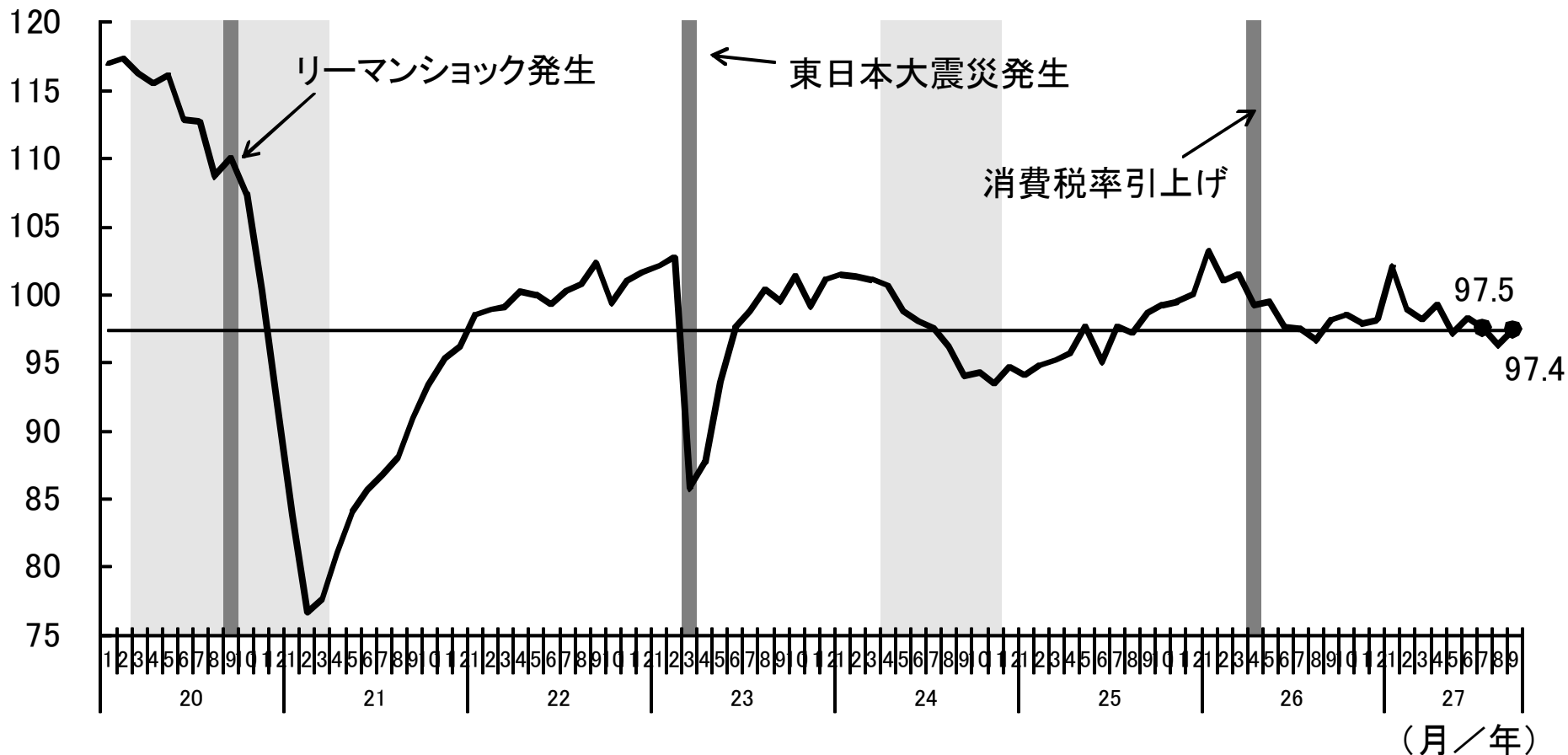
1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- 平成27年9月の生産指数は97.4(前月比+1.1%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成27年7月の97.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 薄色のシャドー部分は景気後退局面。

# 鋳工業生産を大きく動かした品目

## 業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鋳工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業	4.3%	47.6%
	品目	化粧品 有機薬品	11.2% 10.9%	26.5% 10.7%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	5.9%	42.4%
	品目	電子部品 集積回路	8.9% 8.2%	31.6% 22.1%
	3位の業種	電気機械工業	5.6%	32.8%
	品目	民生用電気機械 回転電気機械	7.5% 5.8%	8.3% 5.1%
○ 鋳工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 4.7%	▲ 60.2%
	品目	半導体・フラットパネル製造装置 土木建設機械	▲ 19.1% ▲ 11.1%	▲ 34.1% ▲ 17.4%
	2位の業種	窯業・土石製品工業	▲ 1.4%	▲ 4.0%
	品目	ファインセラミックス ガラス・同製品	▲ 3.7% ▲ 1.2%	▲ 2.7% ▲ 1.3%
	3位の業種	食料品・たばこ工業	▲ 0.6%	▲ 3.3%
	品目	清涼飲料 酒類	▲ 1.6% ▲ 1.6%	▲ 2.6% ▲ 2.3%

**寄与率：** 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い  
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した  
分類によるもの。

# 全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	8.9%	31.6%
	2位	化粧品	11.2%	26.5%
	3位	集積回路	8.2%	22.1%
○ 鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	▲ 19.1%	▲ 34.1%
	2位	土木建設機械	▲ 11.1%	▲ 17.4%
	3位	金属工作機械	▲ 12.7%	▲ 15.1%

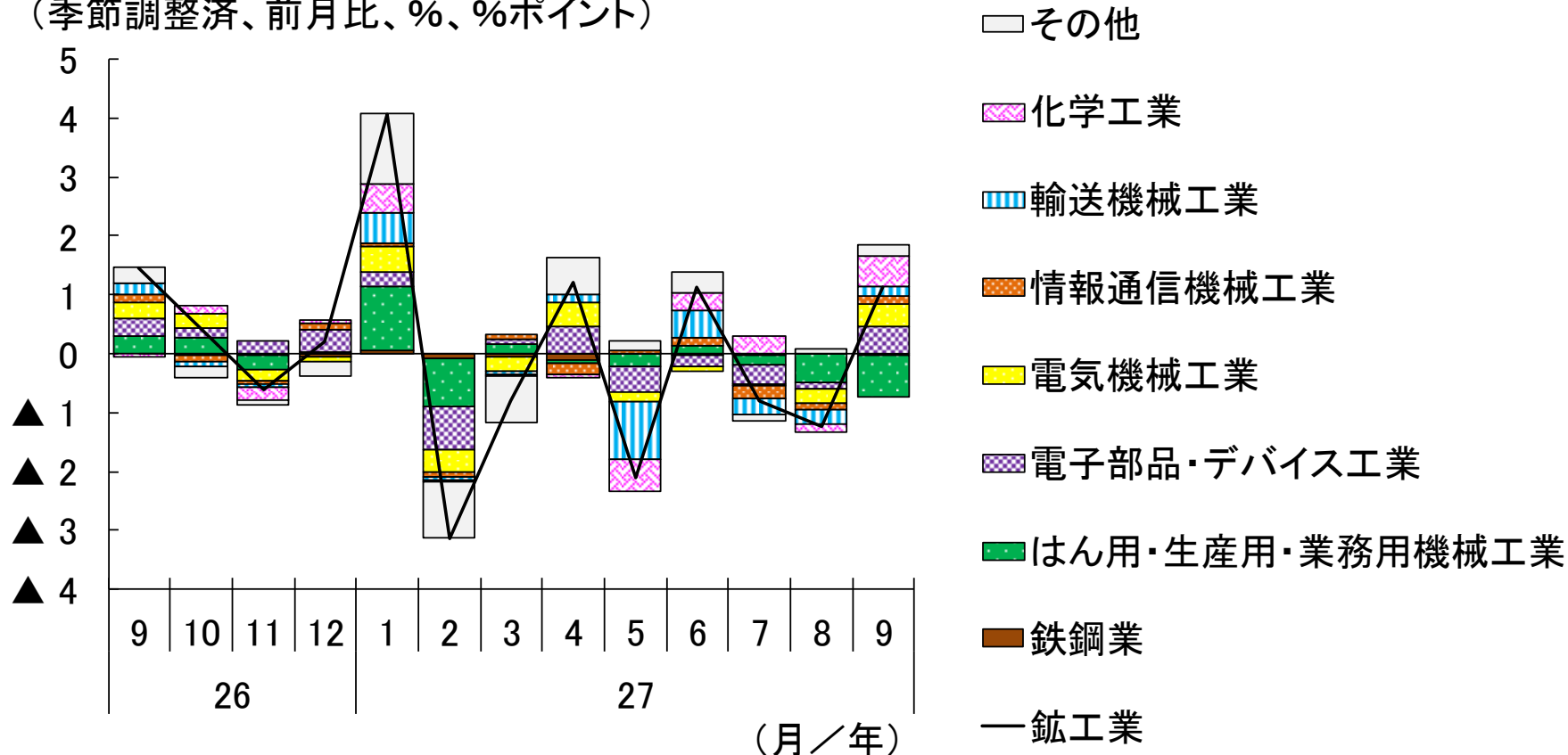
## 財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.6%	114.8%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	44.8%	35.2%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	19.2%	21.8%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.6%	14.1%
		セパレート形エアコン	25.6%	14.7%
		軽乗用車	6.5%	4.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.1%	13.4%
		モイスチャークリーム	41.8%	9.2%
		シャンプー	18.7%	4.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.1%	10.2%
		橋りょう	37.6%	10.8%
		ガス風呂がま	7.8%	1.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 3.5%	▲ 48.1%
		半導体製造装置	▲ 22.9%	▲ 32.9%
		シヨベル系掘削機械	▲ 11.9%	▲ 13.2%

# 鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年9月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業が低下したものの、化学工業などが上昇したため、前月比+1.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

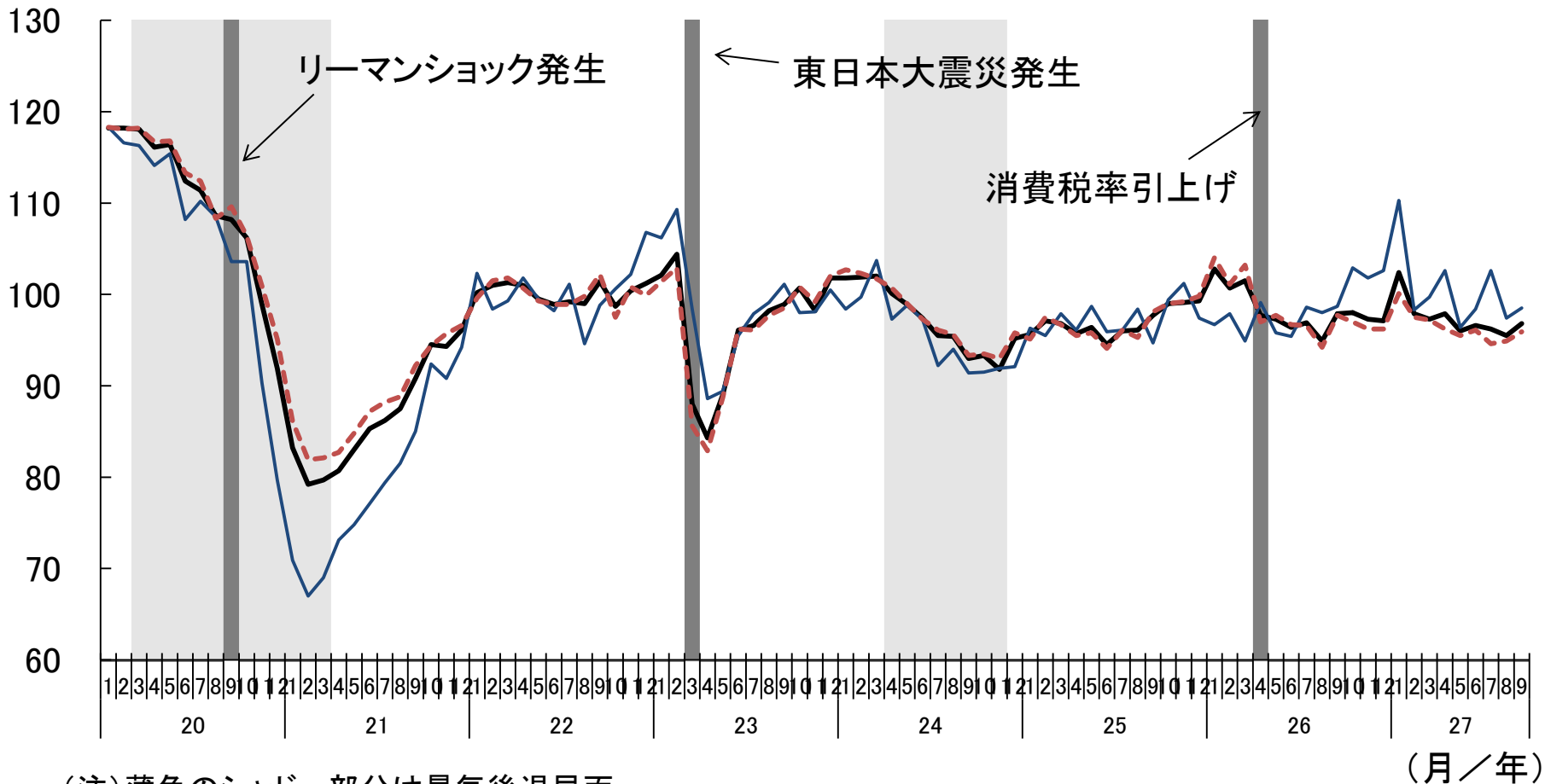




# 出荷内訳表の動向

- 平成27年9月の鋳工業出荷は96.8(前月比+1.4%)と3か月ぶりの上昇。
- 内訳をみると、国内向けは95.9(前月比+1.1%)と2か月連続の上昇となり、輸出向けは98.5(同+1.1%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済) — 鋳工業出荷 — 輸出向け - - - 国内向け

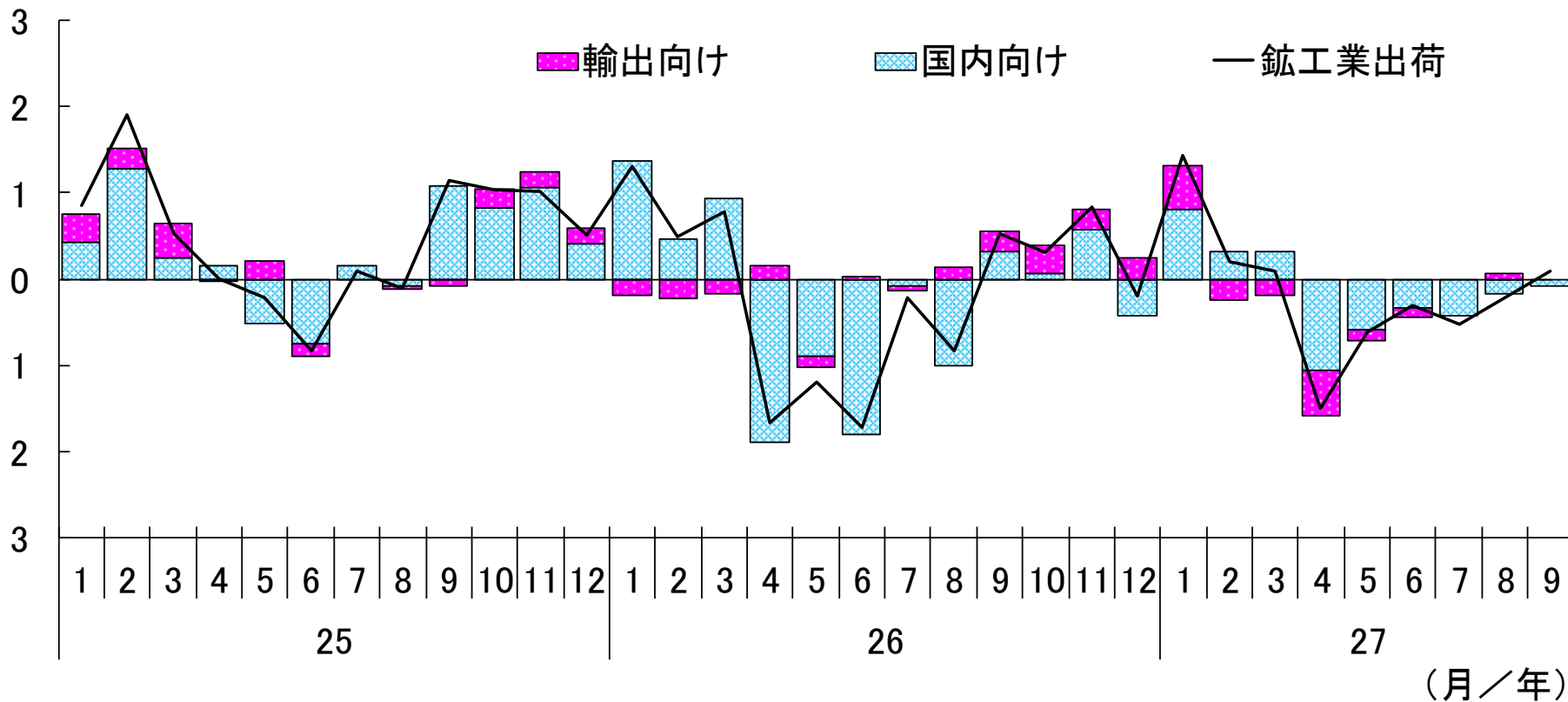


(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

# 出荷内訳表(後方3か月移動平均・前月比寄与度)の動向

- 後方3か月移動平均で均してみると、鉱工業出荷の前月比は上昇に転じた。内訳をみると、国内向け出荷の低下寄与が引き続き縮小。

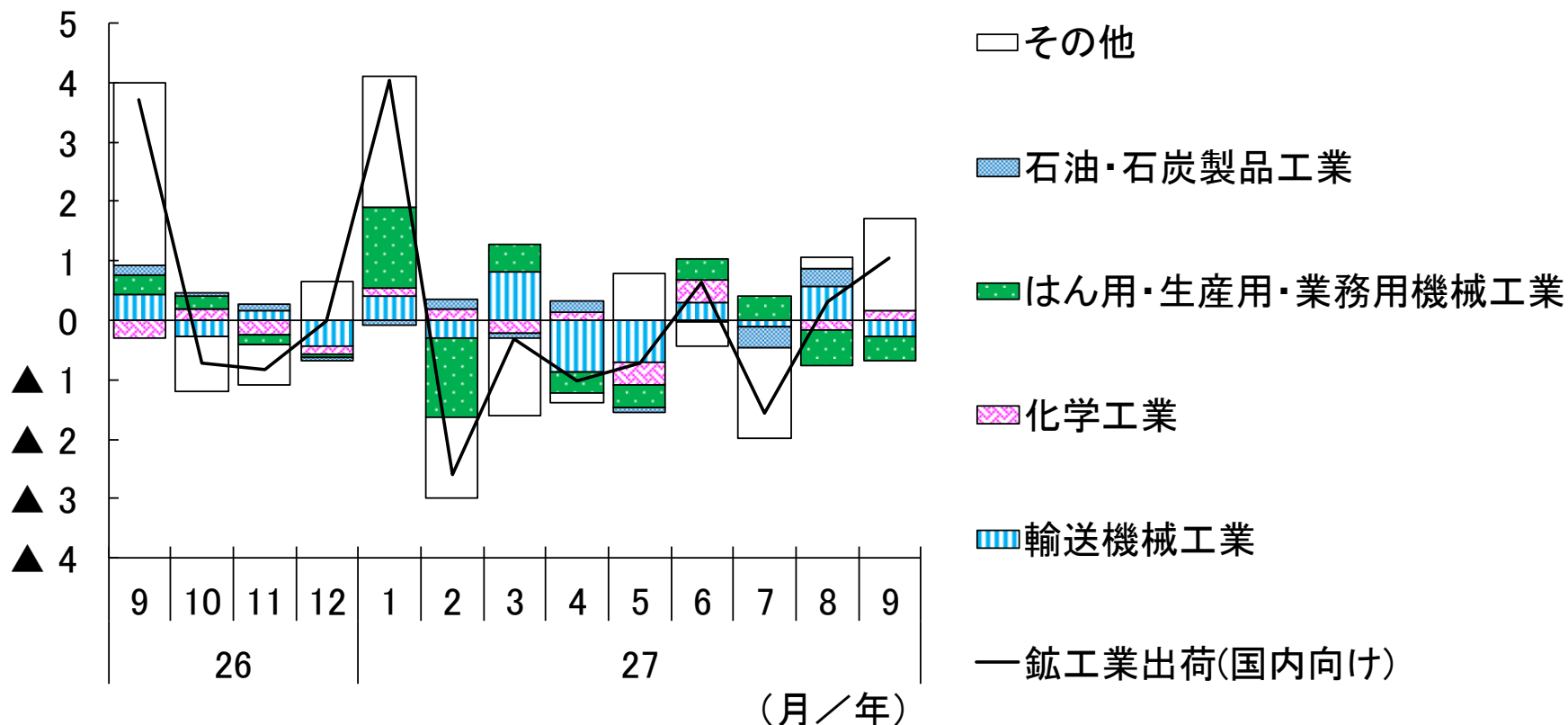
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 主要業種別・国内向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・国内向け出荷を主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などは低下したものの、化学工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

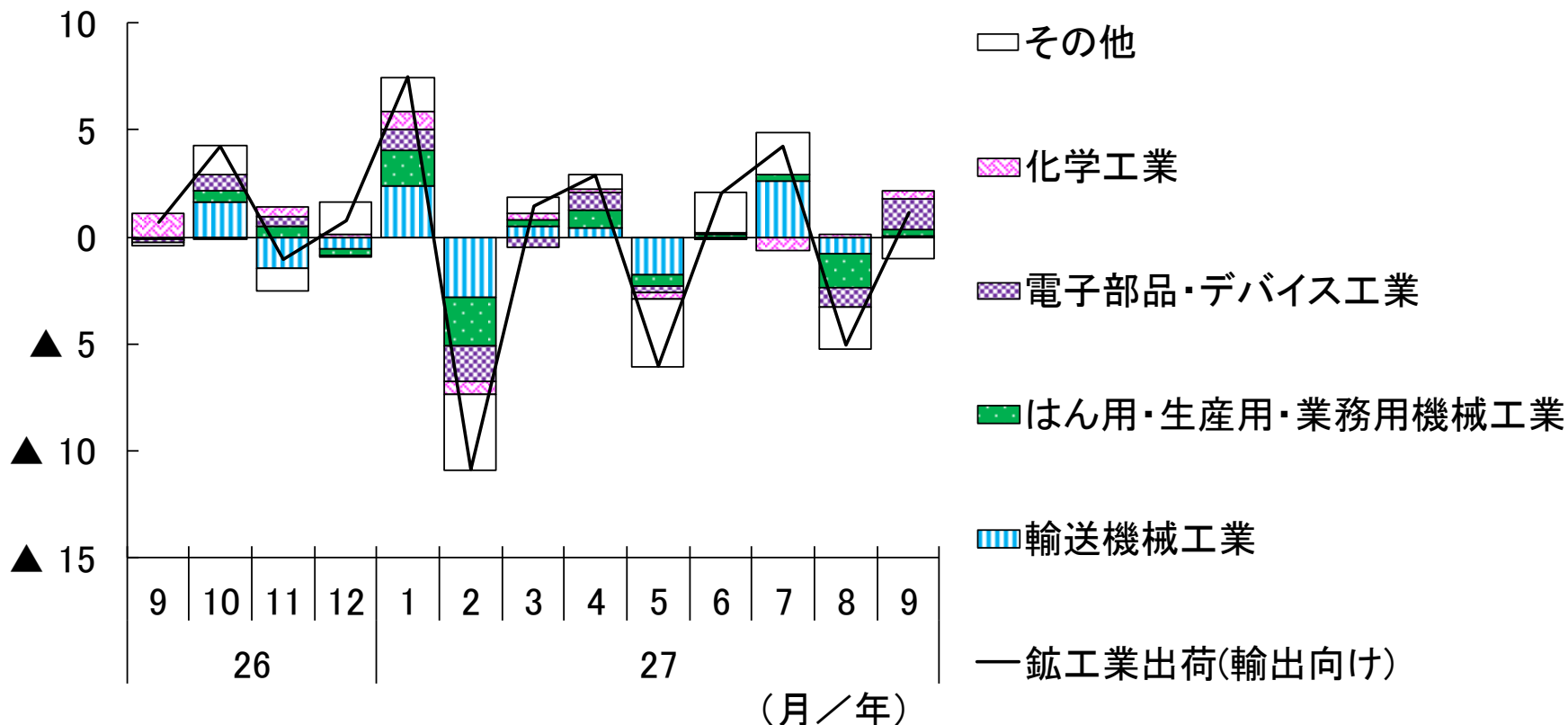


(注) 主要業種とは、鉱工業・国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)の4業種。

# 主要業種別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

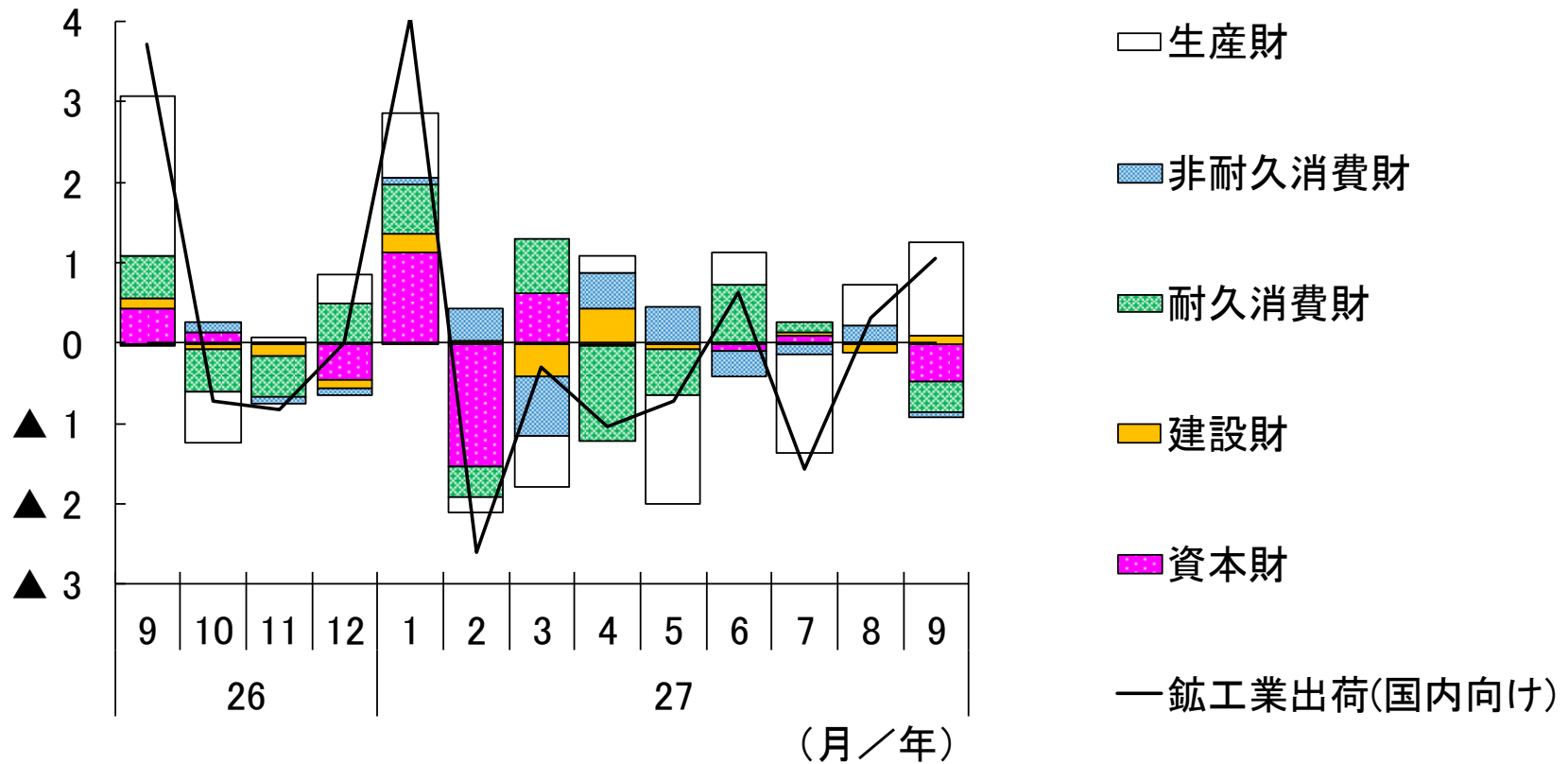


(注) 主要業種とは、鉱工業・輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

# 財別・国内向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・国内向け出荷を財別にみると、資本財などが低下したものの、生産財などが上昇。

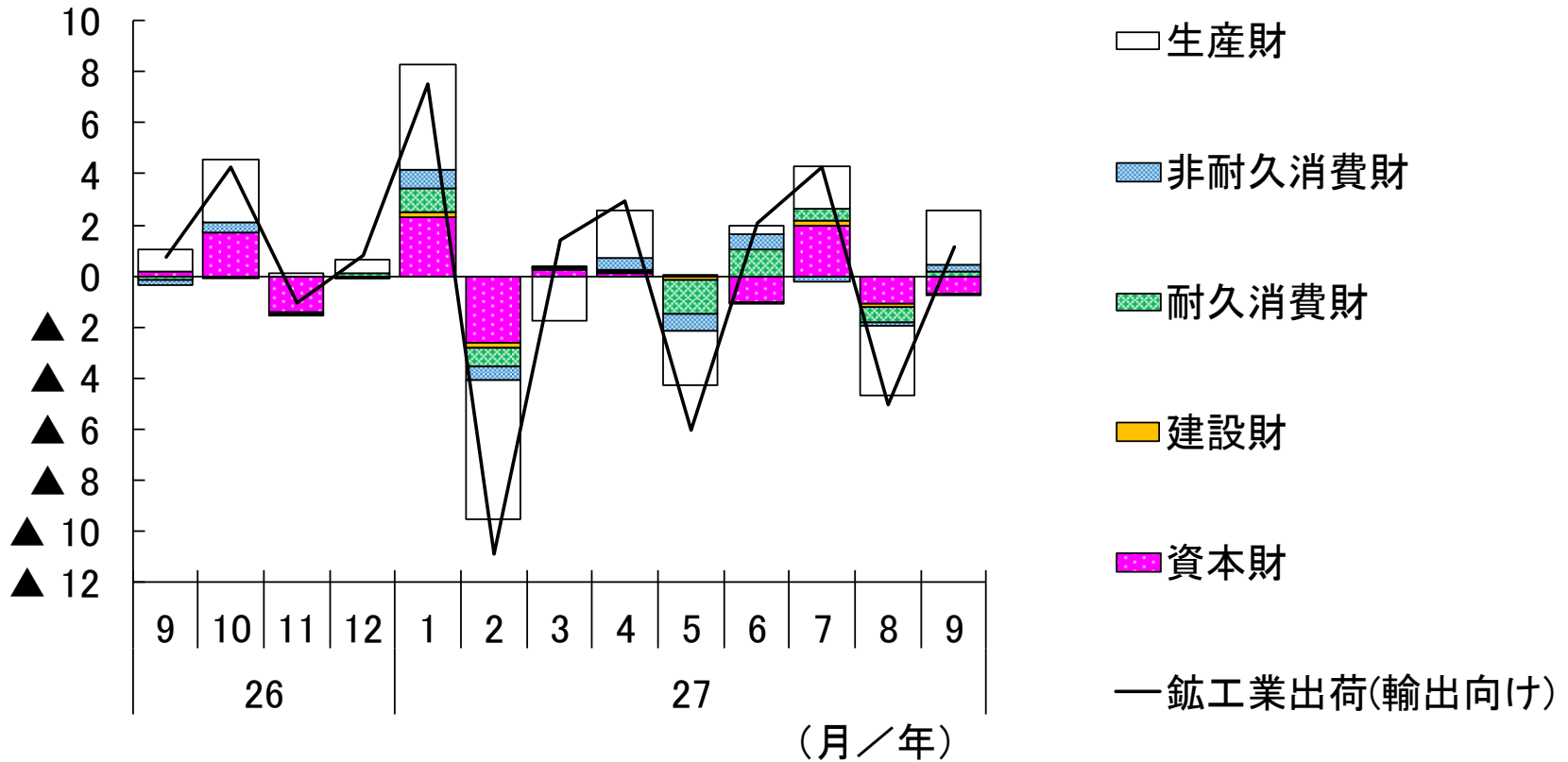
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 財別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を財別にみると、資本財などが低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 国内向け出荷の財別・業種別の変動寄与

## 寄与率

▲ 100%になる。出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
<b>鉱工業</b>	1.1	61.8
<b>鉱工業用生産財</b>	2.5	62.5
電子部品・デバイス工業	6.0	24.7
鉄鋼業	3.3	10.2
<b>建設財</b>	1.5	5.9
金属製品工業	6.7	10.8
はん用・生産用・業務用機械工業	3.3	0.3
<b>その他用生産財</b>	▲ 0.1	▲ 0.3
石油・石炭製品工業	▲ 0.5	▲ 1.0
その他工業	▲ 0.8	▲ 0.4
<b>非耐久消費財</b>	▲ 0.4	▲ 3.4
食料品・たばこ工業	▲ 0.7	▲ 2.6
その他工業	▲ 18.8	▲ 1.9
<b>耐久消費財</b>	▲ 3.0	▲ 22.7
情報通信機械工業	▲ 16.5	▲ 15.7
電気機械工業	▲ 1.9	▲ 1.5
<b>資本財</b>	▲ 2.5	▲ 27.8
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 5.6	▲ 30.6
輸送機械工業	▲ 9.1	▲ 29.0

(注) 試算値

# 輸出向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
<b>鉱工業</b>	<b>1.1</b>	<b>16.7</b>
<b>鉱工業用生産財</b>	<b>4.3</b>	<b>36.3</b>
電子部品・デバイス工業	12.0	21.4
電気機械工業	15.8	8.0
<b>非耐久消費財</b>	<b>8.7</b>	<b>3.9</b>
その他工業	21.1	1.3
化学工業	4.3	0.9
<b>耐久消費財</b>	<b>1.4</b>	<b>2.7</b>
情報通信機械工業	13.7	1.5
その他工業	15.4	1.4
<b>建設財</b>	<b>▲ 3.4</b>	<b>▲ 1.0</b>
プラスチック製品工業	▲ 18.7	▲ 1.7
鉄鋼業	▲ 6.1	▲ 0.3
<b>その他用生産財</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>▲ 1.2</b>
石油・石炭製品工業	▲ 8.5	▲ 2.6
金属製品工業	▲ 34.1	▲ 0.9
<b>資本財</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>▲ 9.6</b>
輸送機械工業	▲ 16.6	▲ 16.8
情報通信機械工業	▲ 0.3	▲ 0.0

## 寄与率

▲ 100%になる。出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

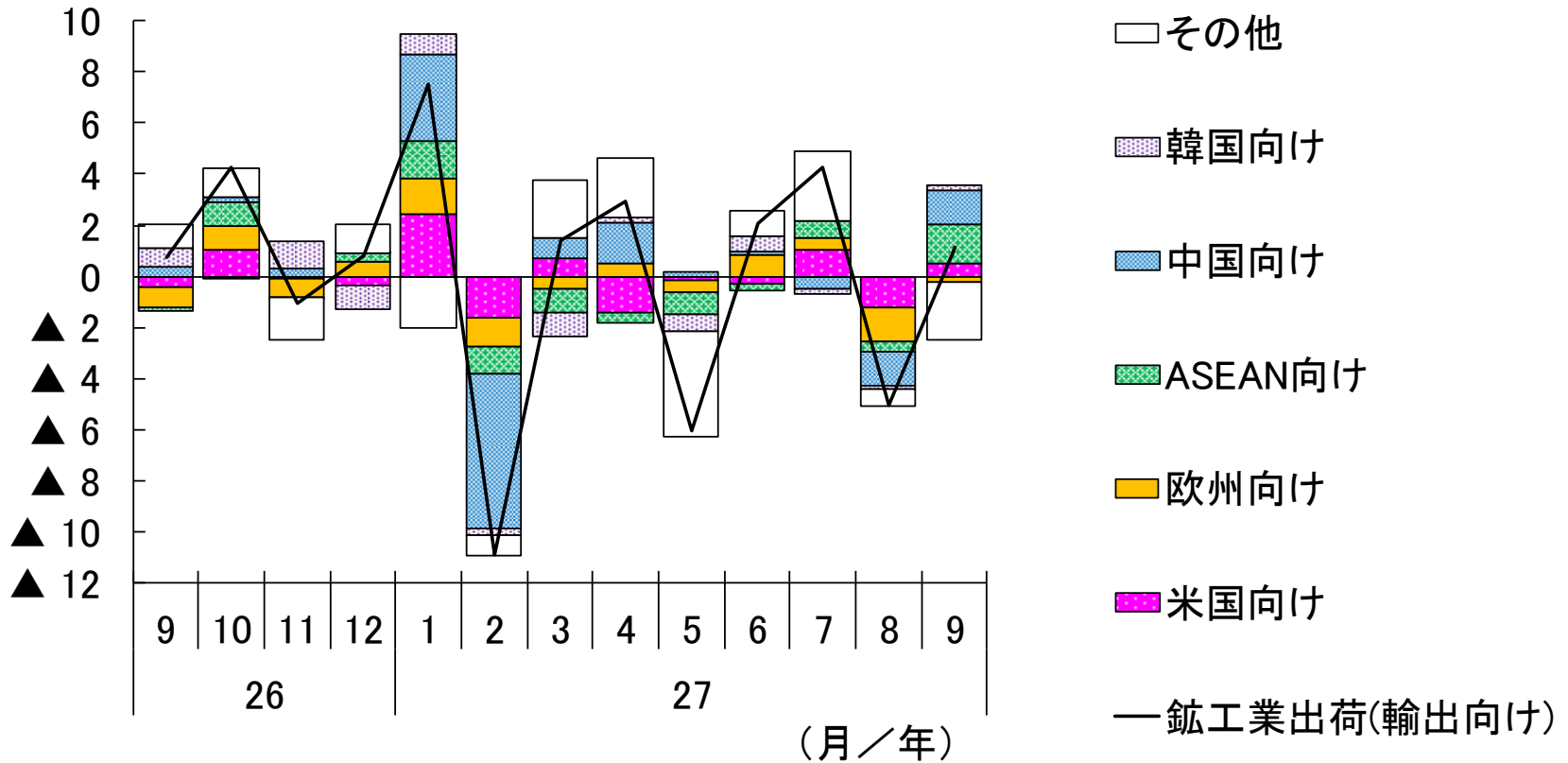
(注) 試算値



# 地域別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を地域別にみると、ASEAN向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 試算値

# 総供給表の動向

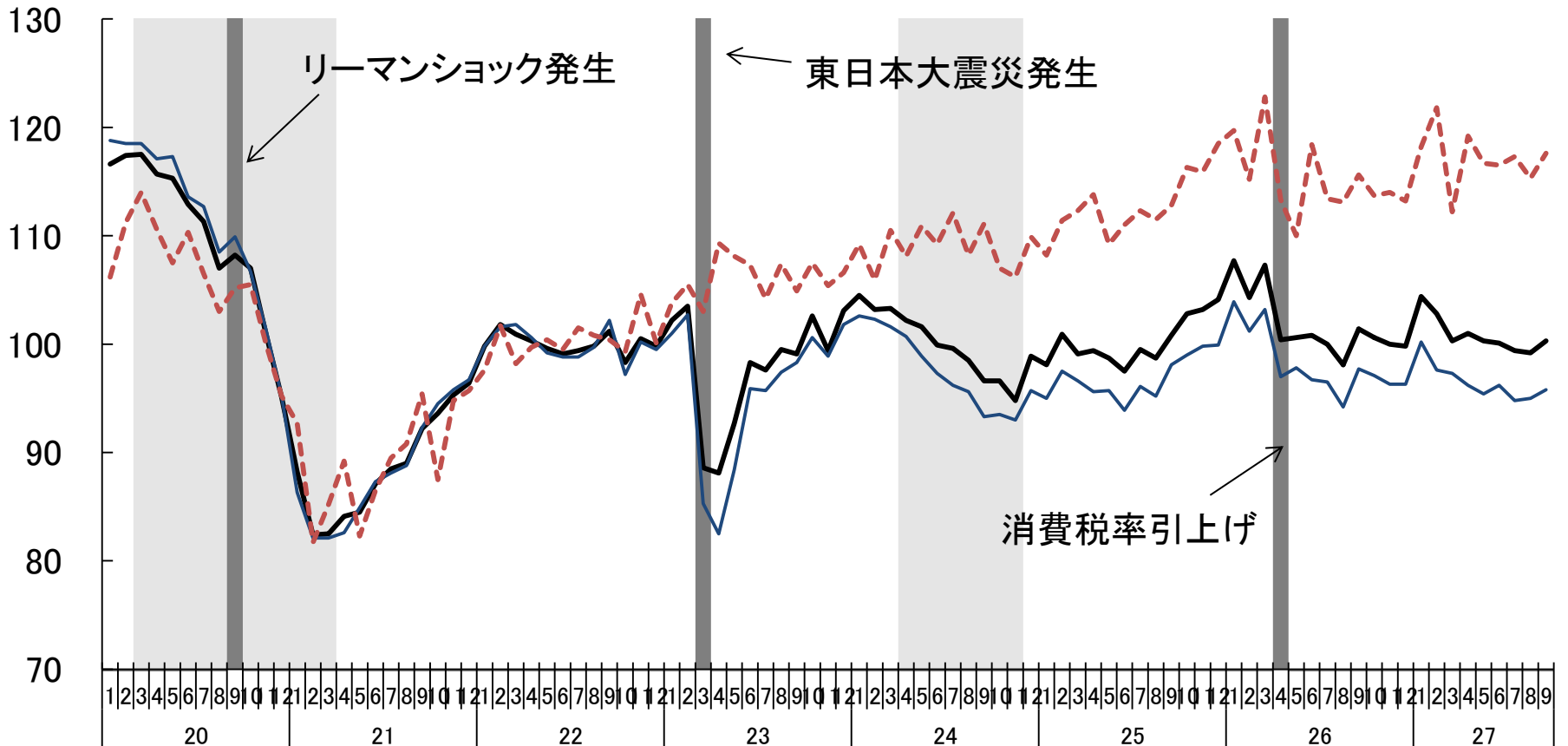
- 平成27年9月の鉱工業総供給は100.3(前月比+1.1%)と5か月ぶりの上昇。
- 内訳をみると、国産は95.8(前月比0.8%)と2か月連続の上昇、輸入は117.6(同+2.0%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 鉱工業総供給

— 国産

- - - 輸入

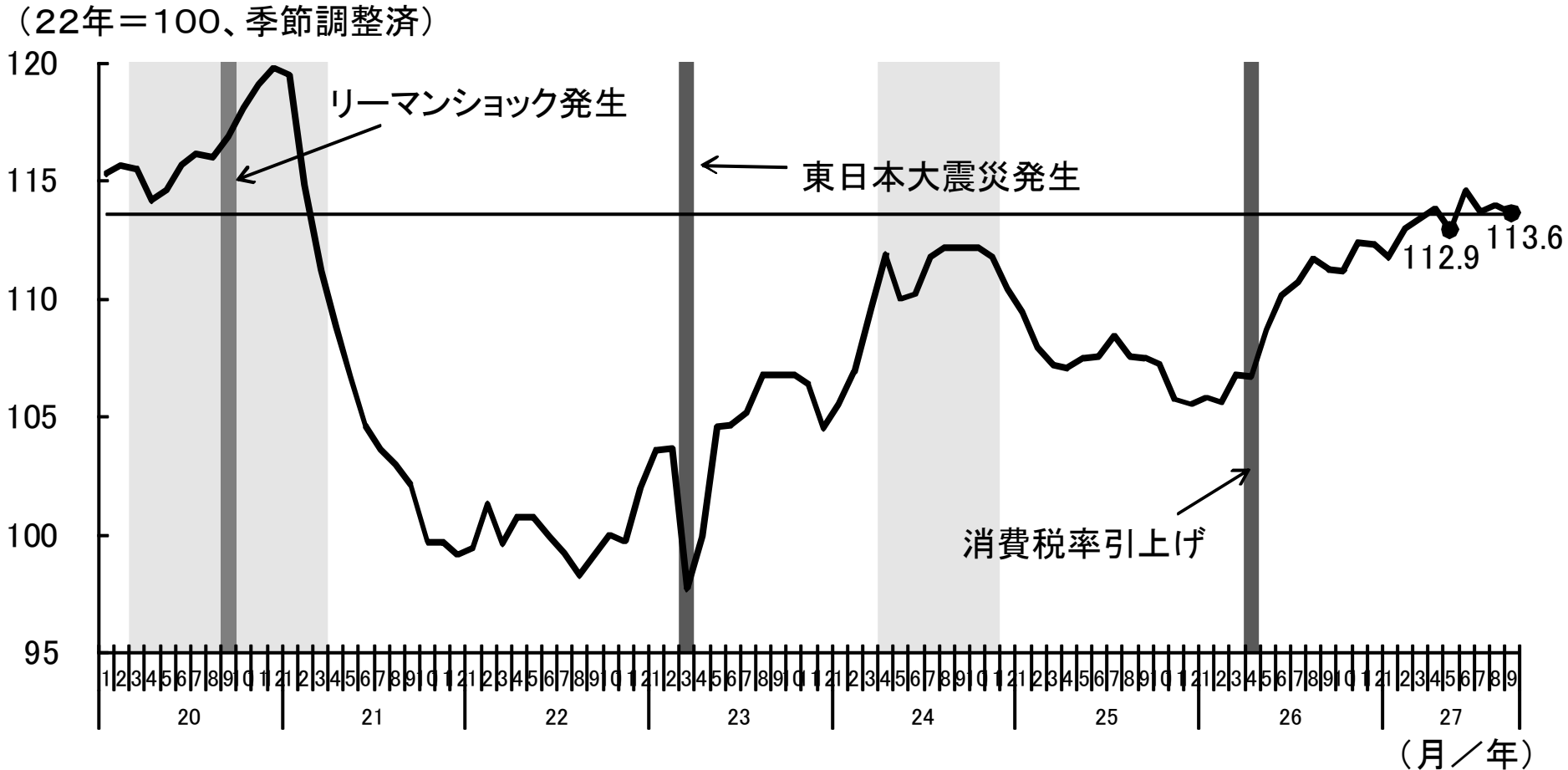


(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

(月/年)

# 鉱工業在庫指数の動向

- 平成27年9月の在庫指数は113.6(前月比▲0.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成27年5月の112.9以来の指数水準。



(注)薄色のシャド一部分は景気後退局面。



# 平成27年9月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率	能力
季調済指数	97.4	95.1 (原指数)
前月比	1.5%	0.0%
指数水準	H27.4 99.4以来  I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	22年基準 ② H27.8 95.1以来 (超) H26.8 95.0以来  I H20.11 102.0 II H20.12 101.9 ① H26.7, 8 95.0 ② H26.6, 9, H27.8, 9 95.1
前月比の動き	3か月ぶり+ (H27.6以来)	4か月連続+なし (H27.6～当月) [4か月ぶり▲停止 (H27.5以来)]
前月比幅	H27.1 3.1%以来  I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	—
前年同月比(原指数)	▲ 2.9%	0.0%
前年同月比の動き	9か月連続▲ (H27.1～当月)  ・直近で9か月以上連続▲ 11か月連続▲ (H24.8～H25.6)	6か月連続▲なし (H27.4～当月) [6か月ぶり+停止 (H27.3以来)]  ・直近で6か月以上連続▲なし 44か月連続+ (H17.5～H20.12)
前年同月比幅	H27.5 ▲6.8%以来  ① H21.2 ▲43.9% ② H21.3 ▲40.5% ③ H21.1 ▲35.0%	—

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

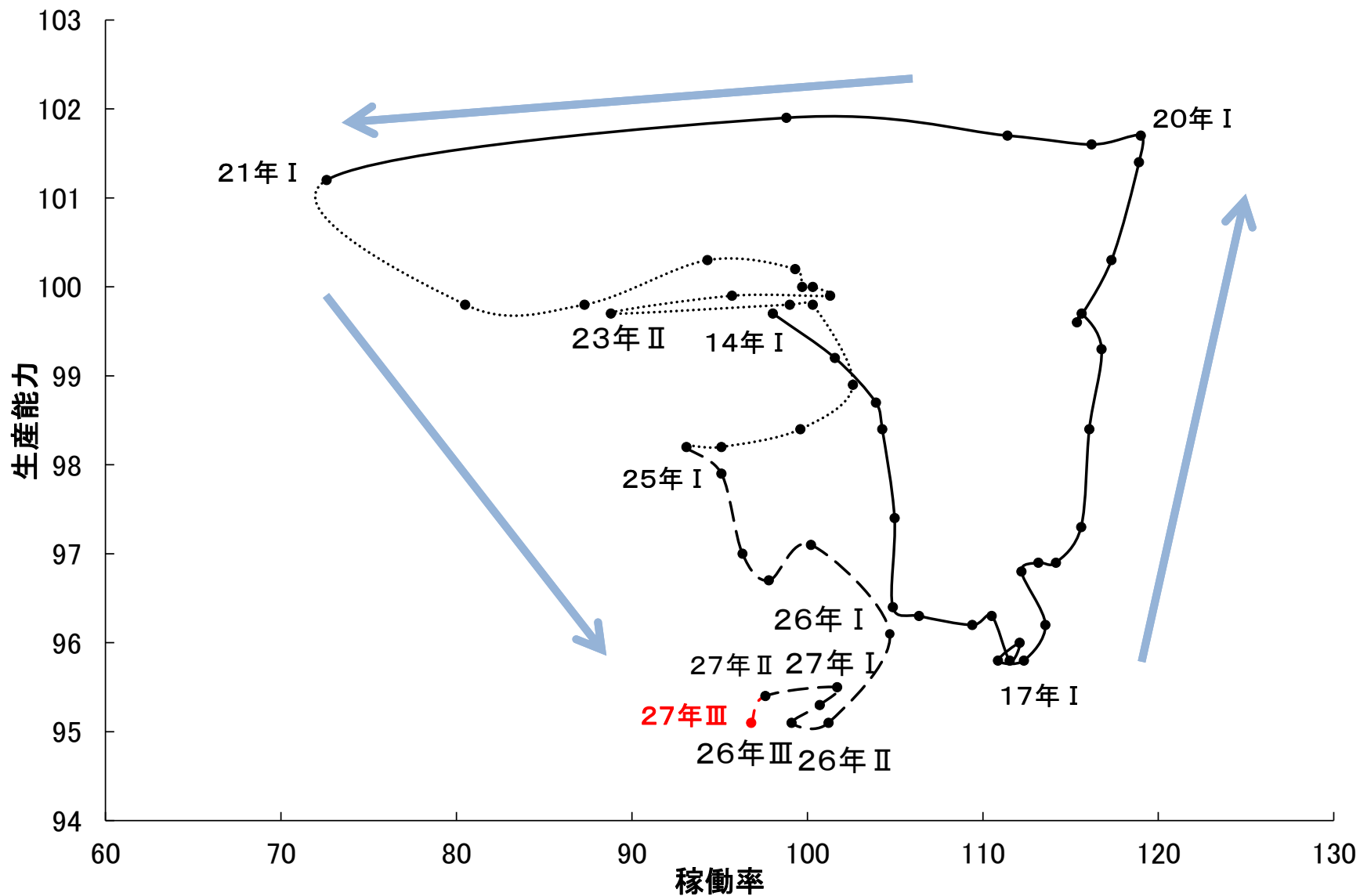
# 平成27年7～9月期 稼働率・生産能力指数の状況

四半期	稼働率	能力（期末）
季調済指数	96.8	95.1（原指数）
前期比	▲ 0.8%	▲ 0.3%
指数水準	H25. II 96.3以来  ①H21. I 72.6 ②H21. II 80.5 ③H21. III 87.3	22年基準① H26. III 95.1以来  ①H26. II, III, H27. III 95.1 ②H26. IV 95.3 ③H27. II 95.4
前期比の動き	2期連続▲ (H27. II～当期)	2期連続▲ (H27. II～当期)
前期比幅	H27. II ▲4.0%以来  ① H21. I ▲26.5% ② H20. IV ▲11.3% ③ H23. II ▲7.2%	H26. II ▲1.0%以来  ①H21. II ▲1.4 ②H26. I, II ▲1.0 ③H24. I, 25. II ▲0.9
前年同期比（原指数）	▲ 2.4%	0.0%
前年同期比の動き	3期連続▲ (H27. I～当期)  ・直近で3期以上連続▲ 4期連続▲（H24. III～H25. II）	2期連続▲なし（H27. II～当期） [2期ぶり+停止（H27. I以来）]
前年同期比幅	H27. II ▲3.4%以来  ①H21. I ▲39.9% ②H21. II ▲30.7% ③H21. III ▲21.5%	—

1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

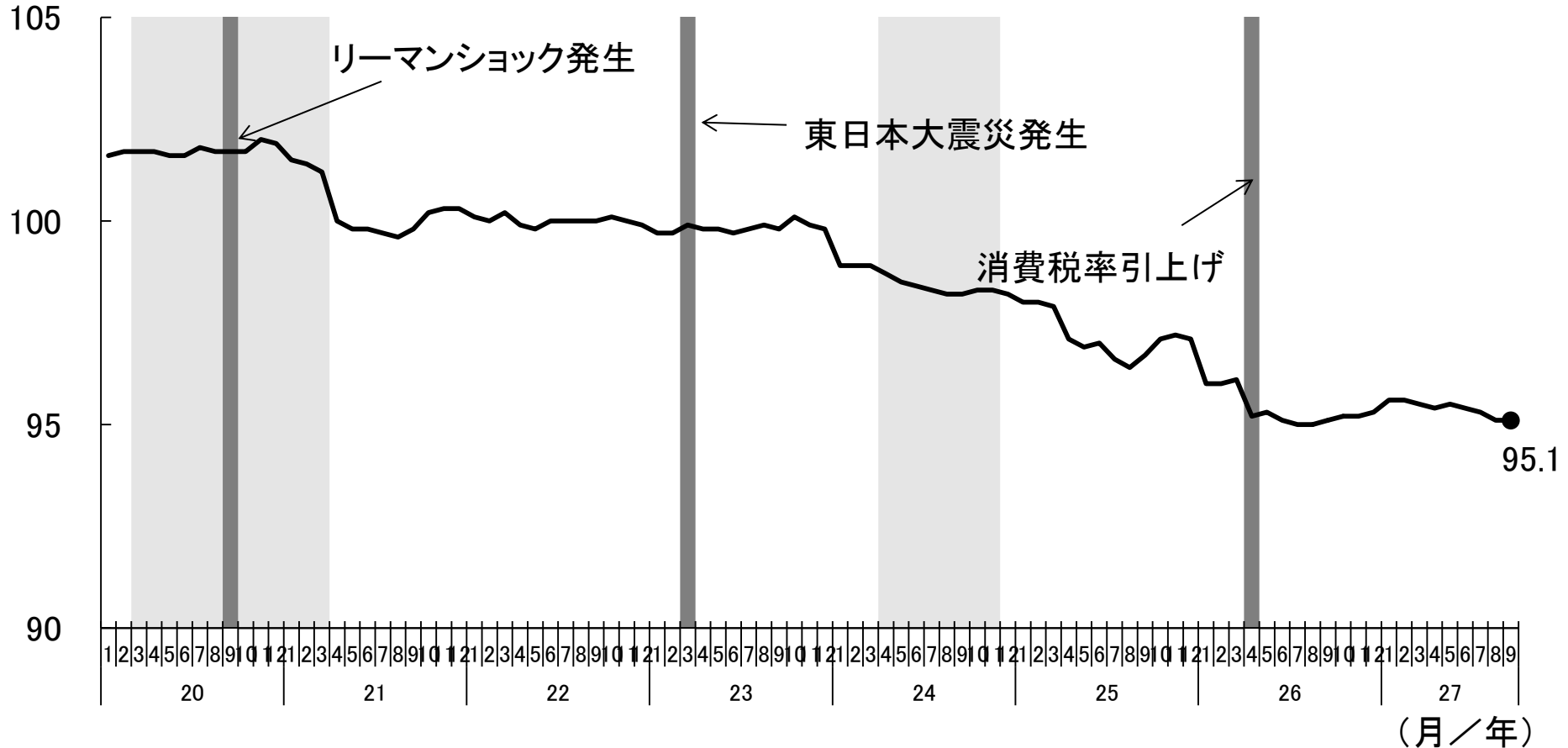
# 生産能力－稼働率の循環関係(平成22年＝100)



# 製造工業生産能力指数の動向

- 平成27年9月の生産能力指数は95.1（前月比0.0%）の横ばい。

（22年＝100、季節調整済）



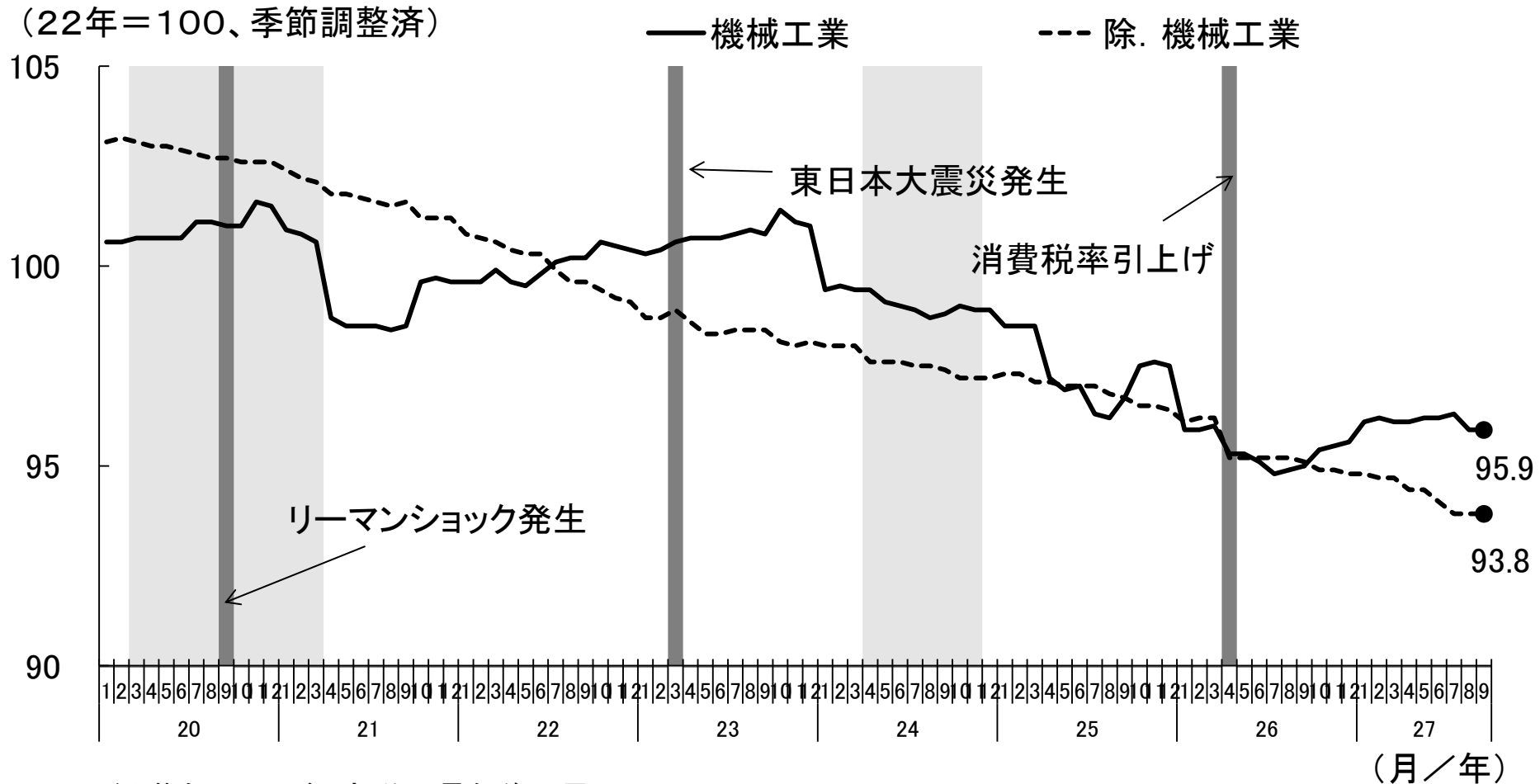
（注）1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年（現在は平成22年）の12か月平均＝100として指数化したもの。

2. 薄色のシャドー部分は景気後退局面。



# 製造工業(除.機械工業)と機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年9月の機械工業は95.9(前月比0.0%)の横ばい。
- 一方、製造工業(除.機械工業)は、93.8(前月比0.0%)の横ばい。



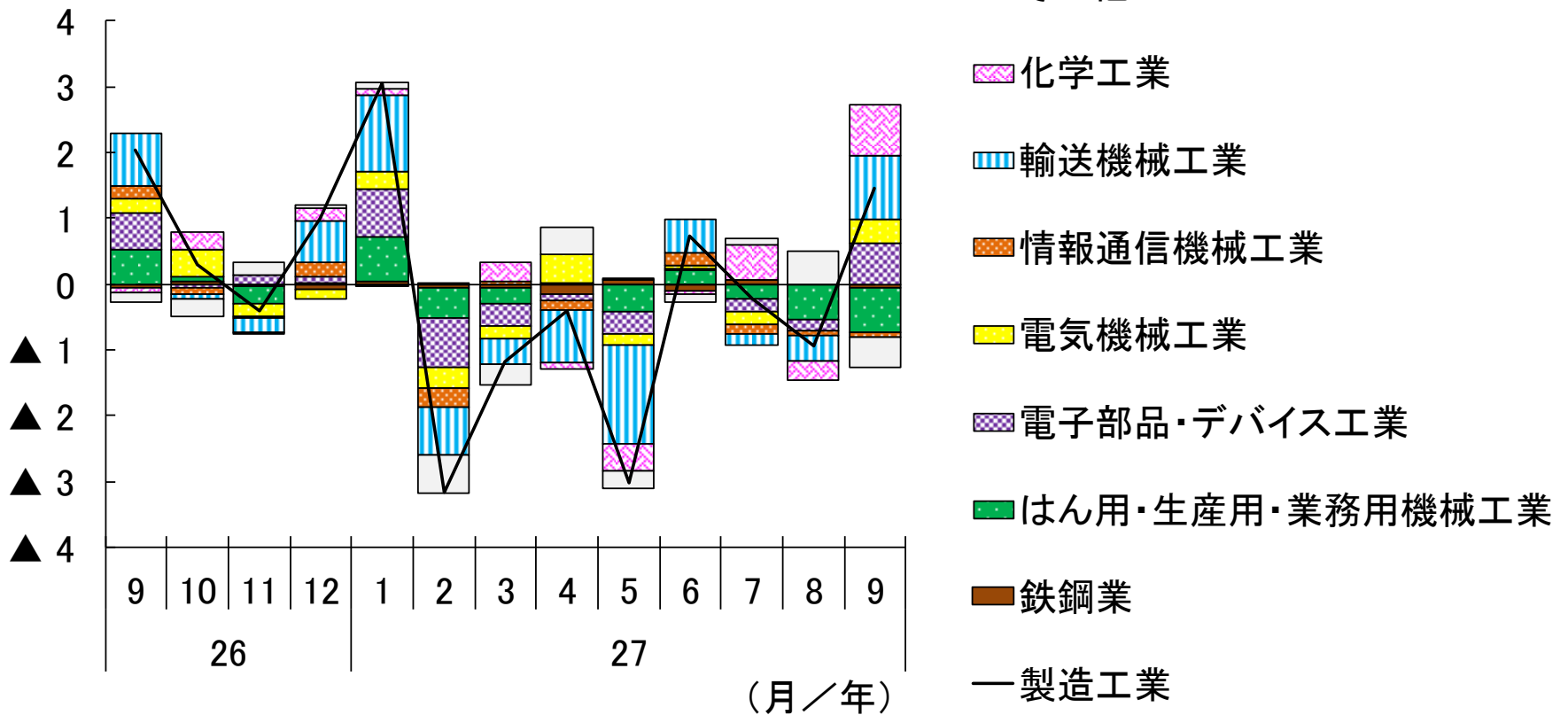
(注)薄色のシャド一部分は景気後退局面。



# 稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年9月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比+1.5%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。



# 統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年9月の統合指数(前月比、季節調整済)の内訳をみると、鉱工業生産は前月から上昇したものの、第3次産業活動が低下したため、前月比0.0%の横ばい。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

